



# わかくさ



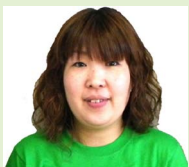
マムク

ゴールをめざして飛べ！

ベビールームの子ども達が小春日和にボール遊び。いよいよ学童達は3学期。この春、幼小中高を卒園・卒業する子どもはぜんぶで10人。あたらしい年がはじまりました。



## 春を迎えて



グループホーム主任

吉永直子

大寒を過ぎ、寒さが一番厳しい時期となりました。皆様いかがおすごでしょうか。昨年末にはクリスマスプレゼントやご寄付をたくさん頂き各ホームそれぞれに外食や食事会など楽しくすごす事ができました。心より感謝申し上げます。年が明け今年度もあと残りわずかとなりました。この春には高校受験を控えた子どもが2名、高校を卒業し就職・進学と自立していく子どもが6名おります。子ども達皆が笑顔で春を迎えられるように、あわただしい中でも一日一日を大切に共に過ごしていきたいと思っています。

若草園には具同と平野に2つのグループホームがあります。私は若草園に就職して12年目となりますが、前年度まで具同ホームを担当し今年度からは2カ所のグループホームをサポートする役割をさせてもらっています。児童養護施設は、その建物の大きさや子どもの人数から、学校とも異なるけれど地域の家庭とも異なる場所として、良い意味も悪い意味も含めて特別な存在感があるように思います。しかし施設の建物が地域の住宅地にある普通の民家であったならその特別な存在感が薄れ、近隣の皆さまともなじみやすくなります。学校のお友達が日常的に遊びにきてくれたりもします。地域の方々が施設を身近に感じられたら、施設の役割やそこで暮らす子ども達への理解がより深められることに繋がります。若草園が今まで以上に地域に溶け込んだ存在になれることへのきっかけとなれるようにと願っています。

本年も皆さまからのご支援ご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 育児相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ

でんわ (0880)  
33-0258  
24時間 365日  
相談料無料



(通話料はかかりません)

第2回高校生トロント交流会

報告書



日本キリスト教児童福祉連盟

7月26日～8月2日、若草園が加盟している日本キリスト教児童福祉連盟主催の「第2回高校生トロント交流会」に児童1名が参加しました。前回から2年ぶりの開催で、今回でこの交流会は完結しました。本紙第35号で前回の内容をお伝えしておりますが、この間に日本の児童福祉法が改正されて意義深い訪問になりました。1989年に採択された国連子どもの権利条約に日本は1994年に批准しましたが、去年の児童福祉法改定で条文にその内容が織り込まれました。権利擁護先進国であるカナダで研修を行う事は意義深い事となりました。

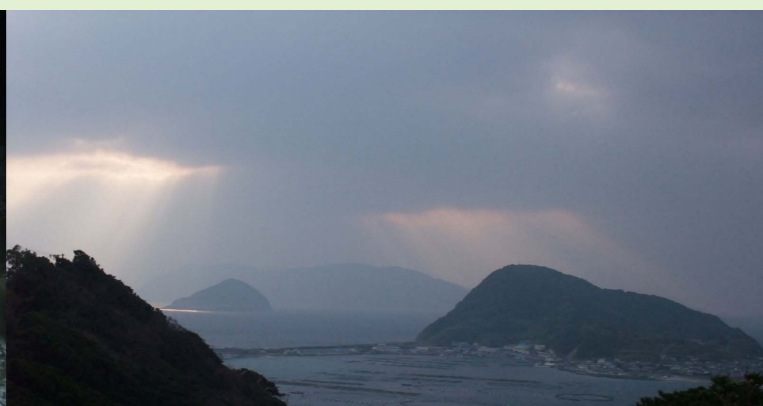
今回の目玉は何と言ってもオンタリオ州議事堂にて子ども達が公聴会を再現したことです。左上の報告書下部に掲載されているパノラマ写真がその様子です。討議内容は①施設職員の一貫性のない対応について、②携帯電話夜11時以降使用禁止ルールの是非について等、とても興味深いものでした。カナダ国内にて10泊11日、ホームステイ有りの充実した内容でした。全体では全国の加盟施設から子ども13人、スタッフ6人、通訳1人が参加し、総事業費は782万円でした。

高校生がカナダ研修へ

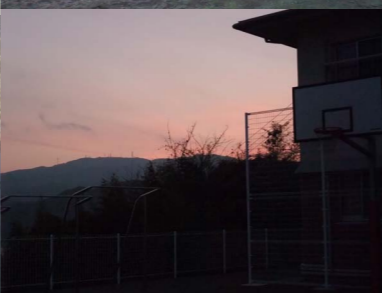
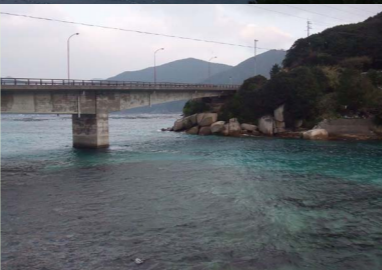
今回の目玉は何と言ってもオンタリオ州議事堂にて子ども達が公聴会を再現したことです。左上の報告書下部に掲載されているパノラマ写真がその様子です。討議内容は①施設職員の一貫性のない対応について、②携帯電話夜11時以降使用禁止ルールの是非について等、とても興味深いものでした。カナダ国内にて10泊11日、ホームステイ有りの充実した内容でした。全体では全国の加盟施設から子ども13人、スタッフ6人、通訳1人が参加し、総事業費は782万円でした。



トロント市庁舎前の人気スポットにて  
←ホストファミリーと



- |   |   |
|---|---|
| 1 | 2 |
|   | 3 |
| 4 | 5 |
|   | 6 |
- 1 車窓からの景色
  - 2 柏島の雲の光
  - 3 柏島にかかる橋
  - 4 四万十川の夕日
  - 5 下田中学校の鯉
  - 6 若草園の夕日



投稿@写真集

前号にて若草園の子どもが園舎を撮影した写真を掲載しましたが「クリスマスプレゼントにデジカメをもらった」との事で、たくさんの方の写真を投稿してくれました。ギャラリーにしてみました。

12.16 クリスマスカロル  
お世話になっているお宅を下田と中村のふた手に分かれて、クリスマスの喜びの讃美歌にのせて訪問しました。



←子ども達に図書カードのプレゼントがあり、文庫整備と共に本が充実しました。ありがとうございます。



12.23 クリスマス礼拝と祝会  
キリスト教系施設である若草園ではクリスマスを盛大にお祝いします。地域の方々からケーキの差し入れがあり、華が添えられました。



12.5 干し柿づくり  
渋柿がたくさん寄付されたので子ども達と干し柿にしました。いい感じに出来てきました。



11.25 文庫の整備完了  
「若草園を支える会」会報にてボランティアを募集したところ3名が来て下さり、会長と職員2人を加えた6人で「若草園を支える会文庫」を整備しました。これからも定期的みなさまの御協力を得ながら維持していきたいと思ひます。



11.15 七五三  
おめかしして下田小学校の向かいにある貴船神社へお参りにいきました。



結った髪はこのとおり ↑



1.13 プリの差し入れ  
漁業に従事する卒園生の津野直樹さんが在園生に食べさせようと、子ども達の前で解体ショーをしてくれました。



ハロウィンコート

10.31  
近年、日本でも定着した秋の収穫を祝うハロウィンですが、若草園でも楽しみました。  
カボチャのお化けづくり→  
↓ベビーの仮装



# もうすぐ卒園式です



↑ 去年 (H29. 3. 25) の卒園式

まもなく若草園の「卒園式」があります。卒園式は例年3月中旬に行われます。今年3月10日(土)に決まりました。卒園式とは、若草園で生活してきた主に高等学校を卒業した子どもが、進学や就職など進路が定まり、その子どもを社会生活へと送り出すセレモニーです。日程はそれぞれの子どもの時間を縫うように決定されます。

児童養護施設 若草園は児童福祉法に基づいて運営されておりますが、原則として18歳までがここで生活できます。18歳という年齢の上限は「児童」の法的な定義によるものです。今までも高校在学中など理由がある場合は20歳まで延長する事は可能でした。これを→措置延長と呼びます。法律の条文上やむを得ないのですが、これは満18歳になった時点で18歳の誕生日を迎え、ほぼ全員に措置延いかに感じる部分です。そこには変化がなで拡大されました。この事はとても大きな進22歳に達する日の属する年度の末日まで」となっていますので、大学を卒業するまでは今回の改正で対応できることになりました。しかし、留年してしまった場合など、まだ万全であるとは言えません。



たとえばドイツの場合、日本の児童福祉法に代わる法律は「児童・青少年援助法」です。それによると児童・青少年の定義は「児童 14 歳未満、青少年 14 歳～18 歳未満、若い成人 18 歳～27 歳未満」となっており、1つ

の法律で社会生活をはじめめる青年全体を支援する形になっています。ドイツの人口は約 8200 万人(日本は約1億 2000 万人)で、定員 5～200 人の児童養護施設約 2200 箇所(日本は約 600 箇所)で18歳以下の約 7 万人(日本は約 3 万人)が生活し、約 6.5 万人が里親の手に委ねられています(日本は約 6 千人)。

国によって文化や制度の違いもありますが、日本の子ども達もよりよい社会保障制度の中で生活が出来るようにと願っています。

## 退所児童等アフターケア事業

**あおば** は、児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、里親家庭を退所し、自立生活をしている方をサポートします。お気軽にご相談ください。



Tel (090)5912-1785

専門相談員 岡崎光子

9:00～17:00(緊急の場合は24時間対応します)

<< 無料 >> (通話料はかかりません)

社会福祉法人の運営を透明化する目的で情報公開が義務づけられている。若草園も数年前からホームページを立ち上げて基本理念や決算を掲載している。インターネットの利点は連続した情報を簡単に手に入れ、扱う事が出来ることにある。今号からアドレスをQRコードでも表示した。▼この機関誌も電子版としてそこに掲載されている。並んだバックナンバーを見れば、若草園60年の移ろいを色濃く感じる。▼今回の記事では、2回目となったトロント研修や、園児の写真投稿など続きモノが重なった。ネット環境がある方は、ぜひ追跡して振り返って閲覧していただきたい。▼より内容が深まる。▼特に2面「若草園の様子・まご」で紹介した「天然ブリの差し入れ」の記事では、この卒園生が小学生の頃の作文をNo.6とNo.10で見ることが出来る。いずれも漁の話だった。成長を感じる。数字ばかりのネット検索ではなく、本来はこの情報こそ、本当にお伝えしたい中身である。▼1面にもあるが、3月に卒業・卒園する子どもは10人。その中の6人は若草園を巣立ち、それぞれの仕事、学業へと就く事になる。(せと

編集後記

## 読者が こども高知新聞

近年、小学校の学習はよりよく問題解決する能力を養う観点から総合学習に力が入れられています。地元高知新聞にはその成果を発表する場が設けられています。時々、若草園の子どもも登場して、私たち職員は喜ばせて頂いています。先日「レッツ！五・七・五」のコーナーにも、左の句が掲載されました。

### さるになりマスト登った運動会

下田小学校玄関には地元の偉人が紹介された石碑があります。保育の父・佐竹音次郎も約10年前に竹島小学校の総合学習で取り上げられたのが顕彰活動のきっかけになりました。やがてこの石碑に名前が刻まれる子どもが起りますように。



子ども達の総合学習